

〔 競 技 注 意 事 項 〕

- 1 本大会は2022年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会競技要項によって行う。また、小学生については、友の会ルールを適用する（本大会は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を考えたの競技会のため、通常とは運営方法が異なるので、「大会参加における遵守事項」も含めて、しっかりと確認すること）。
- 2 スタートは英語で行う。スタートは国内ルールを適用する。小学生については友の会ルールに従って行う。
- 3 アスリートビブスについて
 - ・競技者は必ずアスリートビブス（規定のもの）を胸・背部に確実につける。ただし走高跳、棒高跳は胸・背いずれか一方でもよい。走幅跳・三段跳は胸につけるだけでもよい。
- 4 招集について
 - ・招集の際、「体調管理チェックシート」を提出する。ただし、当日に複数種目に出場する選手は「体調管理チェックシート」の提出をその日の最終種目の招集時とするので、それより前の種目の招集時は「体調管理チェックシート」を競技役員に提示し、チェックを受けたのち返却してもらう。（その後の種目の招集時に再度必要なため）
 - (1) トラック競技
 - ・招集場所を新設の器具庫（N03・4）に設置する。
 - ・競技時間表記載の招集時間に合わせて招集を受ける。招集場所での密を避けるため、時間前から待機することを禁止する。
 - ・400mまでの距離種目（スタートからフィニッシュまですべてセパレートレーンで行われる）については、腰ナンバー標識は使用しない。それ以外の種目は該当の腰ナンバー標識を招集時に受け取る。
 - ・リレーについては4人揃って招集を受ける。リレーオーダー用紙は招集時に提出する。
 - ・招集時には密を避け、前後の間隔を確保して整列する。また、マスクを必ず着用する。
 - ・招集完了後は、スタート地点集合時間に合わせてスタート地点に集合し、最終コールを受ける。（スタート地点での密を避けるため、時間前から待機することを禁止する）
 - (2) フィールド競技
 - ・招集は競技場所で行う。
 - ・競技時間表記載の招集時間に合わせて競技場所に集合し招集を受ける。（招集後はそのまま公式練習・競技へと進行するため、競技に必要な用具はすべて持参する）
 - ・密を避けるため、招集時間より前に競技場所に集まらない。
 - (3) 招集開始時刻および招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

	〈招集開始時刻〉	〈招集完了時刻〉
トラック競技	30 分前	20 分前
跳躍競技		30 分前
(棒高跳のみ		50 分前)
投てき競技		30 分前
 - (4) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなして処理する。

5 競技場への入退場について

- ・競技場所へは手洗いを実施してから集合する。
- ・競技終了後は、直ちに手洗い場（スタンド西側通用口付近）に移動し、手洗いおよび洗顔を実施する。

(1)トラック競技

- ① 最終コールはスタート地点で集合時間以降に実施する。最終コールを受けていない選手は競技に参加できない。
- ② スタート練習は、スタート地点集合以降、役員の手指示に従って行うこと。

(2)フィールド競技

- ① 招集開始以降すみやかに競技場所に移動し、競技役員の手指示に従って競技場内で練習を行うこと。競技場以外での投てき練習は一切禁止とする。
- ② 特に、投てき競技については危険をとまなうので勝手な行動はつしむこと。競技前、競技中の練習で使用できる器具はタオル等、人に危害を加えないものに限る。やりの突き刺し練習、砲丸の打ち付け練習は禁止する。
- ③ 退場は、跳躍および投てき競技役員の手指示・誘導により行う。

6 走路順・試技順について

- (1) トラック競技の走路とフィールド競技の試技順は、プログラム記載の番号順とする。
- (2) 欠場者のレーンは空ける。ただし800mは出発係の手指示による。

7 競技について

- (1) トラック競技はタイムレースで行う。小学生はタイムレース、中学生はタイムレース決勝で行う。1/100秒単位で同タイムの場合は、1/1000秒単位で判断する。
- (2) 次の種目については、競技運営・進行上、表に記載してある時間で競技を打ち切る。
- (3) セパレートレーン使用の競技では、フィニッシュした後も他の競技者の安全のために、自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走るものとする。
- (4) 同一選手がトラック競技とフィールド競技を同時刻に兼ねて行う場合は、トラック競技を優先とし、フィールド競技は同一ラウンドにおいて競技役員の手許可を得て順序を変更することができる。
- (5) 800m以上の距離種目については腰ナンバー標識を使用する。さらに5000m以上の種目は腰ナンバーと同じ数字の標識を胸につける。5000mWは胸・背につける。使用したナンバー標識はレース終了後直ちに東器具庫（N01・2）前の係員に返却すること。
- (6) フィールド競技における競技開始前練習は競技役員の手指示によって行う。
- (7) 三段跳の踏切板は男子10m、女子7m・9mで行う。ただし審判長の判断で変更することもある。
- (8) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方については下記のとおりとする。（変更もあり得る）

	県選男子	県選女子
5000m	20分00秒	25分00秒
10000m	40分00秒	
3000mSC	15分00秒	18分00秒
5000mW	35分00秒	35分00秒

県選

- 男子走高跳（練 1.50 1.70） 1.55 1.60 1.65 1.70 1.75 1.80 1.85 1.90 以後 3cm
男子棒高跳（練 2.60 3.20 4.00） 3.00 3.20 以後 10cm
女子走高跳（練 1.15 1.45） 1.20 1.25 1.30 1.35 1.40 1.45 1.50 1.55 以後 3cm

女子棒高跳（練 1.80 2.60） 1.80 2.00 2.20 2.40 2.60 以後 10cm

中学生

男子走高跳（練 1.15 1.45） 1.20 1.25 1.30 1.35 1.40 1.45 1.50 1.55 1.60 以後 3cm

男子混成走高跳（練 1.15 1.45） 1.20 1.25 1.30 1.35 1.40 1.45 1.50 以後 3cm

男子棒高跳（練 1.80 2.80 3.60） 2.00 2.20 2.40 2.60 2.70 以後 10cm

女子走高跳（練 1.10 1.30） 1.10 1.15 1.20 1.25 1.30 1.35 1.40.1.45 1.50 以後 3cm

女子混成走高跳（練 1.00 1.30） 1.00 1.05 1.10 1.15 1.20 1.25 1.30 以後 3cm

女子棒高跳（練 1.80 ） 1.80 2.00 2.10 2.20 2.30 2.40 2.50 2.60 以後 10cm

8 競技器具について

- (1) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。ただし「棒高跳用ポール、円盤、ハンマー、やり」については個人所有のものの使用を認める。「円盤、ハンマー、やり」は公式検定を競技開始 1 時間 15 分前から 1 時間前に本部にて検定を受けること。

- (2) 投てき種目は、次の重量のものを使用する。

県選男子 やり投・・・800g 砲丸投・ハンマー投・・・7.26kg 円盤投・・・2.0kg

県選高校男子 砲丸投・ハンマー投・・・6.0kg 円盤投・・・1.75kg

県選女子 やり投・・・600g 砲丸投・ハンマー投・・・4.0kg 円盤投・・・1.0kg

中学混成男子砲丸投・・・4.0kg 中学混成女子砲丸投・・・2.72kg

中学男子砲丸投・・・5.0kg 中学女子砲丸投・・・2.72kg

中学男子円盤投（オープン）・・・1.5kg 中学女子円盤投（オープン）・・・1.0kg

中学男女ジャベリックスロー（オープン）・・・男女とも 300g

- 9 スパイクピンの長さは 8mm 以下とする。ただし走高跳・やり投は 12mm 以下とする。

- 10 プログラムの印刷と異なる場合等は、早めに本部の庶務担当に申し出て訂正してもらうこと。

- 11 上訴にあたっては、記録が記録発表用 twitter に掲載された時間を基準とし、30分以内に申し出ること。

- 12 競技中に生じた事故については、応急処置はするが以後の責任は負わない。

13 陸上競技場の使用について

- (1) 本大会は無観客で実施する。フェンス外からの観戦についても禁止する。
- (2) 清掃・ゴミ処理は、各団体・学校・各自で責任をもって行い環境美化に努める。
- (3) 各団体の控え場所は、芝生スタンドのみ使用可とする。
- (4) 競技者は管理棟内のトイレの使用を禁止する。スタンド下のトイレを使用すること。

14 ウォーミングアップについて

- (1) 競技開始前のウォーミングアップは競技開始 15 分前までとする。競技開始前のウォーミングアップは長距離が 1・2 レーン、ハードルは 7・8・9 レーンを使用する。ハードルを使った走練習はトラック以外では禁止する。ウォーミングアップ時のジョギングに関してはトラックの内側で競技会準備の支障にな

らないように行うこととする。集団でのジョギングは禁止する。

ホームストレートと第4コーナー出口付近では接触の危険性が非常に高いので、係の指示に従うこと。

(2) 競技中のトラック使用のウォーミングアップは下記の条件付きで認める。

- ① 場 所：第1曲走路の中間地点から200mのスタート地点手前。完全に停止すること。
- ② レーン：6、7、8レーン（競歩競技の時間帯は7、8レーンのみ）
- ③ 可能な種目時間帯：50m、100m、80mH、100mH、110mH、1500m、3000m、5000m、10000m
- ④ 種目間、組間の空白時間帯で準備に支障をきたさない時。

15 監督・コーチ・顧問は競技中にカメラ・ビデオの映像を競技に支障がないようにスタンドから見せることができる。ただし競技場に持ち込むことはできない。もし競技に支障をきたした場合は直ちに禁止とする。

16 愛知選手権大会の申し込みについて（「県選手権への申し込み手続き・選手基準」を参照）、県標準記録等の条件を満たしている該当者の申し込みについては、県の要覧を確認のこと。

17 中学通信について

- (1) 中学通信陸上競技会西尾張予選会の4位までに賞状を授与する。
- (2) 中学通信愛知県大会の申し込みについて（要覧の「愛知県大会への申し込み手続き・標準記録」を参照）この大会で4位4名までの者に参加資格が与えられるので、出場を希望する者は愛知陸協に申し込みをすること。なお、県標準記録等の条件を満たしている該当者の申し込みについても県要覧を確認のこと。

18 感染防止のための全般的な注意事項

①大会1週間前から体調管理チェック表を記入し、競技場入場時に各個人で提示する。

※以下の項目に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。

- ・体調がよくない（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

※提出する前に、提出するデータをコピーまたは写真に撮り、自身でも保管すること。

②運動中以外はマスクを着用し、手洗い・洗顔を徹底する。

③3密（密閉・密集・密接）回避行動を心掛ける。

④ウォーミングアップは個別に行うことがのぞましい。

⑤競技終了後および競技用具使用後は手洗い・洗顔・手指の消毒をする。

⑥更衣室の滞在は短時間にする。

⑦運動中につばや痰を吐くことは極力行わない。

⑧ゴミは各自で持ち帰る。

⑨フィールド競技の滑り止め（炭酸マグネシウム）はできるだけ各自で持参する。

⑩競技者同士の会話は極力避け、招集中・移動中・待機中はマスクを着用する。マスク着用による熱中症に気をつける。

⑪声を出しての応援、集団での応援を行わない。

⑫競技者は自分の競技時間に合わせて来場し、自分の競技が終わったら速やかに帰宅する。（競技場滞在時間

をできるだけ短くする)

- ⑬競技者以外の応援者・観客の競技場内（スタンドを含む）への立ち入りを禁止する。（小学生の最小限の付き添いを除く）
- ⑭ホームストレート前スタンドは競技役員控え場所として使用するので、各団体での使用を禁止する。各団体は芝生スタンドを使用し、密を避ける工夫をする。
- ⑮参加者は、大会終了後2週間は健康チェックをする。（体調管理チェック表【大会後／個人管理用】を活用する） 症状が4日以上続く場合は必ず最寄りの保健所、医師会、診療所等に報告する。（症状には個人差があるため、強い症状と思う場合はすぐに報告する） また、保健所、医師会、診療所等に相談後、必ず大会主催者に報告する。
- ⑯大会主催者は、競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。

19 その他

- ・記録の発表は上位競技者のみ放送にて行う。記録の掲示は行わないが、尾張陸上競技協会の本大会記録発表用 twitter に期間限定で掲載する。アカウントについては当日受付にて通知する。なお、後日リザルトをHPに掲載する。
- ・競技場入場後のトイレはスタンド下トイレのみ使用可とする。
- ・発熱者が発生したときは、迎えが来るまで競技者控室にて待機させる。
- ・競技役員は、控え場所としてメインスタンドを使用する。
- ・厚生労働省が提供する新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）の使用を推奨する。（ただし、通信端末は競技エリアに持ち込むことはできない）
- ・その他、競技役員の指示があった場合はその指示に従う。

※撮影する場合は、本部で許可を取り、許可証を携行すること。

◆選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください◆

監督・コーチ・顧問以外の写真またはビデオ撮影について

※本人の了解がない撮影を禁止します。

※撮影を許可するエリアは、スタンドのみとします。禁止された区域では撮影はできません。その他にも、以下の場合の撮影を禁止します。

・選手がスターティングブロックの足あわせをしたり、試技を待っていたりしている間や、身体を動かしたりしているなどの準備を行っているとき。

※また他者に著しく迷惑をかける行為として主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡します。